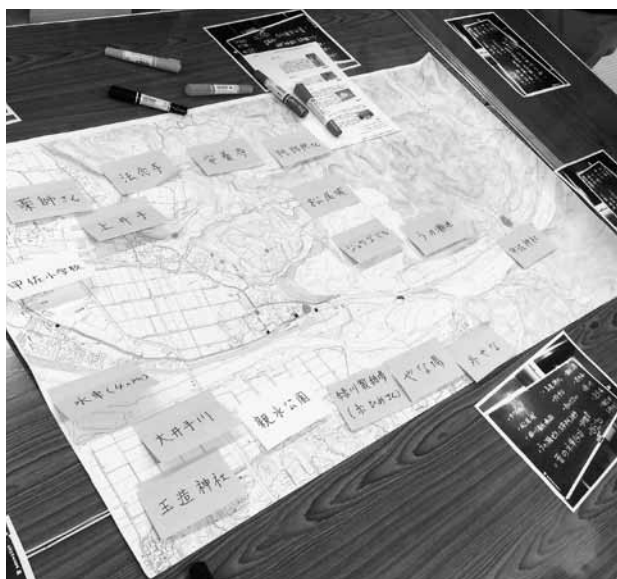




▲区の老人会や子ども会とその保護者などが集まり、地図づくりに関しての意見を出し合い、地域全体で地図づくりに取り組んでいる。

▼「地図づくり」実行委員会で、地図で紹介する上豊内の名所や史跡を協議。



▲上豊内の白地図に名所や史跡を書いたふせんを貼り付けて地域の誇りと自慢と宝を洗い出し。

▼上豊内区の赤星照雄区長。名所や史跡を広くPRする地図作りを通して上豊内の地域力を高める活動に取り組む。

の保護者などが同区公民館に集まってさまざまな意見を出し合いました。

6月から7月にかけて地図に載せる名所や史跡などの現在の状態を確認するために現地調査をし、地図で紹介する写真撮影などに取り組みました。調査の結果を白地図に落とし込んで、紹介するスポットや内容について協議を重ねました。8月から9月には、古くからの歴史や史跡、言い伝えについて知っている高齢者を聞き取り調査したり、子ども目線で見る新しい魅力や働き世代から見る観光面での魅力など幅広い世代に愛用される地図となるように協議したりして、地域を巡りたくさんの情報を集めました。

現在は、集めた地域の情報を同区の地図

上にまとめ、観光で訪れた人も地域住民も子どもから高齢者まで、さまざまな活用方法があるリーフレットの地図となるようにレイアウトやデザインの打ち合わせを行っています。今後は、地図の作成と同時に、地域全体を紹介するために地区に設置する案内表示板の制作や名所や史跡を紹介する案内表示板などを設置する予定です。

●地図づくりを通じた住民同士の触れ合いがはぐくむ地域の元気

赤星照雄区長は、「上豊内には、松尾城跡を始め史跡が数多く残っており、伝統的な大しめ縄作りなど地域で取り組んでいる伝統的な行事も数多くあります。高齢化が進む地域で、高齢者と子どもが触れ合える